

参考資料3

文化財保存活用地域計画の構成例

※あくまで一例であり，市町村の状況に応じて適宜変更可

計画名「〇〇〇文化財保存活用地域計画」

※〇〇〇には市町村名を記載

※必要に応じて副題を付すことも可

はじめに

序章

1. 計画作成の背景と目的

2. 計画期間

※計画の有効期間について，市町村の総合計画や歴史的風致維持向上計画等が策定されている場合はその期間も勘案の上，5～10年程度の範囲で設定

第1章 当該市町村の概要

1. 自然的・地理的環境

※市町村の位置，面積，地名，地形・地質，気候，生態系，景観等について記載

2. 社会的状況

※人口動態，産業，土地利用，交通機関等について記載

3. 歴史的背景

※歴史，産業史，災害史，集落・町の変遷，関わりのある人物，人々の伝統的な営み，伝承等について記載

第2章 当該市町村の文化財の概要

※国，都道府県，市町村等の指定等文化財の一覧（表◇）を記載し，あわせて主な文化財の概要や域内に所在する文化財の特徴（歴史的・地理的な分布状況や構造・様式的な特徴など）を記載する

※また，現在把握している未指定文化財も含めた域内の文化財をリスト化し，別添として添付する。本文に記載しても可

(表◇)

類型		国指定・選定	都道府県指定等	市町村指定等	国登録	都道府県登録	市町村登録	合計
有形文化財	建造物	2	3	4	0	0	0	9
	美術工芸品	1	・	・	・	・	・	・
無形文化財		・						
民俗文化財	有形							
	無形							
記念物	史跡							
	名勝							
	天然記念物							
伝統的建造物群								
文化的景観								
合計								

※ほか必要に応じて埋蔵文化財，選定保存技術，ふるさと文化財の森などについても記載

第3章 当該市町村の歴史文化の特徴

※第1章（文化財の周辺環境）と第2章（文化財）から導き出される，当該市町村に固有の歴史や文化にまつわる地域的な特色の概要を簡潔に記載

第4章 文化財の保存・活用に関する方針

1. 既存の文化財調査の概要

※これまでに域内を対象として国，都道府県，市町村，大学等の研究機関等が実施した調査を一覧にまとめて記載（表○）

(表○) 既存調査一覧

書籍名	著者名	発行者名	発行年	備考
〇〇県近代化遺産調査報告書	〇〇県	〇〇	昭和〇〇年	
△△市文化財総合把握調査	△△市	〇〇	平成〇〇年	

※域内の地区及び類型ごとに既存の調査の有無を一覧表（表△）にまとめ，調査が不足している部分を明らかにし，今後の調査の方針や計画を第5章に記載する（表△）

		建造物	美術工芸品	無形文化財	民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	文化的景観	伝統的建造物群	(独自の類型等)	備考
○ ○ 地区	先史	○	×	○	×	△	未	・・・	・・・	・・・	・・・	
	古代	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・						
	中世											
	近世											
	近代											

○：多く分布，×：該当なし，△：調査不足，未：未調査

2. 文化財の保存・活用に関する課題

※未指定文化財を含む文化財の滅失・散逸や文化財の担い手の減少の状況，適切な周期での修理ができていない域内の文化財の状況，文化財を継承する技術・材料等の確保・生産体制の現状などの課題・問題意識を記載

3. 地域計画の位置付け

※市町村の総合計画や地方版まち・ひと・しごと総合戦略，地方文化芸術推進基本計画，歴史的風致維持向上計画，地域防災計画等の他計画との関係性及び当該市町村の行政体系における地域計画の位置付けを記載

4. 文化財の保存・活用に関する方針

※歴史文化の特徴や保存・活用に関する課題を踏まえ，市町村として今後目指すべき方向性・将来像や，域内の文化財の保存・活用に関する取組の方針を記載

5. 関連文化財群に関する事項（任意）

※関連文化財群の設定の考え方・条件等を記載し，各文化財群の名称，概要，文化財群を構成する文化財の一覧などを表□にまとめる。日本遺産の認定を受けている場合は，その内容を記載

(表□)

関連文化財群の名称
関連文化財群の概要
※当該関連文化財群を構成する文化財に共通するストーリーやテーマの概

要を記載		
構成文化財一覧		
番号	文化財の名称	類型
①		
②		

※ほか必要に応じて、一覧に各文化財のストーリーやテーマにおける位置付け、指定等の状況、所在地などを記載し、写真や地図などを掲載

6. 文化財保存活用区域に関する事項（任意）

※文化財保存活用区域の設定の考え方を記載し、各区域の名称、概要、地図、区域に含まれる文化財の一覧などを表▽にまとめる。歴史的風致維持向上計画が定められている場合は、当該計画に記載の重点区域の内容を記載

（表▽）

文化財保存活用区域の名称		
文化財保存活用区域の概要		
構成文化財一覧		
番号	文化財の名称	類型
①		
②		
文化財保存活用区域の地図		

※ほか必要に応じて、写真や各文化財の概要などを記載

第5章 文化財の保存・活用に関する措置

1. 文化財の保存・活用に関する措置

※第4章の方針を踏まえ、計画期間中に行う文化財の調査、指定等、修理、整備、防災・防犯対策、災害発生時の対応、情報発信、普及啓発、人材育成、原材料・技術の確保・継承、民間と連携した取組などの具体的な計画を記載。周期的な修理など個別の文化財に関する取組が予定されている場合はその計画も記載

※可能な限り実施時期や実施主体、財源（「〇〇省の補助金を活用予定」等）を明確にして記載

2. 関連文化財群の保存・活用に関する措置（任意）

※第4章5. で設定した関連文化財群を構成する文化財の修理・整備や群としての情報発信・普及啓発等の具体的な実施計画を記載。日本遺産の認定を受けている場合は、当該ストーリーに関連する取組の内容を記載

3. 文化財保存活用区域の保存・活用に関する措置（任意）

※第4章6. で設定した文化財保存活用区域内の文化財の修理・整備や区域全体

の情報発信・普及啓発等の具体的な実施計画を記載。歴史的風致維持向上計画が定められている場合は、当該計画に記載の重点区域に関連する取組の内容を記載

第6章 文化財の保存・活用の推進体制

1. 市町村の体制

※文化財担当部局や関係部局の職員・専門人材の配置状況，地方文化財保護審議会等の外部の専門人材の配置状況について記載（表○）。また，必要に応じて今後の体制整備の方針を記載

表○ 文化財の保存・活用の体制

市町村
文化財保護主管課 ・業務内容 ・職員○名（うち埋蔵文化財の専門職員○名，建造物の専門職員○名，美術工芸品の専門職員○名，民俗文化財の専門職員○名） 観光振興課 ・業務内容 都市計画課 ・業務内容 ○○課 ※関係課を適宜記載
関係機関
公立博物館 ・業務内容 ・職員○名（うち専門職員○名） 埋蔵文化財センター ・業務内容 ・職員○名（うち専門職員○名） ※関係機関を適宜記載
地方文化財保護審議会
・審議事項 ・委員の職名・属性
文化財保護指導委員
・取組内容 ・委員の職名・属性
その他民間団体等
○○法人 ・業務内容 ※文化財保存活用支援団体に指定されている法人や，今後指定を検討している法人，DMO等について記載

都道府県や域外の関係機関等との連携

※市町村主催の会議に都道府県が出席しているなどの都道府県との連携や、県立博物館等の域外の関係機関と連携を図る体制・機会があれば必要に応じて記載

※必要に応じて各主体の情報を適宜追加する

2. 事務処理特例の適用を希望する事務の内容（任意）

※文化財保護法施行令第6条第1項及び第2項に掲げる事務のうち、認定市町村において実施を希望する事務の内容を記載する。あわせて、当該事務の具体的な実施体制を記載した書類を地域計画の認定申請書に添付する。

別添資料

・文化財リスト

番号	区分		名称	文化財の指定等	指定等年月日	所在地	備考
1	有形	建造物	〇〇神社本殿	国指定 (国宝)	T〇.〇.〇	〇〇区	
2	有形	美術工芸品 (絵画)	〇〇屏風	県指定	S〇.〇.〇	〇〇	
3	記念物	史跡	〇〇城跡	市指定	H〇.〇.〇	〇〇	
4	記念物	名勝	〇〇家庭園	国登録	H〇.〇.〇	〇〇	
5	民俗文化財	有形民俗	〇〇舞台				
6	民俗文化財	無形民俗	〇〇料理				
7	民俗文化財	無形民俗	〇〇盆踊り				
8	民俗文化財	無形民俗	〇〇製作技術				
	・ ・	・ ・	・ ・				

※ほか必要に応じて概要（解説）、所有者や管理者なども記載する